

## 日本マクドナルド株式会社 CSR Reportへの 第三者意見

日本は少子高齢化・地域過疎化が顕在化する中、世界的には人口増で食料・資源の限界や気候変動への危機感が高まり、持続可能な社会への転換が急務です。グローバルなレストラン企業として2018年1月に「Scale for Good (スケールフォーグッド)」を掲げ、トップメッセージで日本法人も地球の将来に貢献する姿勢を明らかにしています。今後、高い意欲での取り組みを期待します。

CSR Reportを拝見。「品質・サービス・清潔さ・価値」を理念に、「原材料調達、食品・品質管理、従業員、社会貢献、環境」5分野で社会的責任を果たすと明言しています。そして消費者に近い外食として、食の安全・安心にこだわり、品質管理体制を整え、情報を誰もが「見える」よう開示し、レポートも分かりやすく作成しており、信頼を覚えます。

環境では、特に作り置き方式から注文後生産への転換で食品ロスを大幅に削減し「2017年度食品産業もったいない大賞」で表彰されたのは、知恵と工夫で環境と経済の両立が可能なことを示しています。国連「持続可能な開発のための2030年目標 (SDGs)」でも食品ロス・食品廃棄物半減が謳われており、ぜひ社会をけん引していただきたい。また、くらしや地域に根差す社会貢献での、子供たちの食育・防犯・スポーツ・闘病支援など次世代を支える取り組みは、継続していただきたいと考えます。

最後に、CO<sub>2</sub>排出量は対前年比微減ですが、廃棄物やエネルギーなど微増分野もあります。

「Scale for Good (スケールフォーグッド)」を含め、持続可能な未来への一層の挑戦に心から期待します。



### 崎田裕子

ジャーナリスト・環境カウンセラー

NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

NPO法人 新宿環境活動ネット代表理事

NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット

<http://www.genki-net.jp>

NPO法人 新宿環境活動ネット

<http://www.sean.jp>